

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

東大成小学校

東大成小学校の合言葉「みんなが笑顔の東大成小学校」

学校教育目標である「よく考え 進んで学ぶ子」「すなおで 思いやりのある子」「心も体も たくましい子」「仲間と 協力し合う子」の実現に向けて、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「コミュニケーション能力の育成」に重点を置き、日々の教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市北区東大成町 2-1-2

■電話：048-663-3210

■FAX：048-663-9883

■交通：埼玉新都市交通ニューシャトル「鉄道博物館駅」下車徒歩 10 分

01 特別活動を中心とした児童主体の活動の実践



本校では学校課題研究である特別活動を通して、児童主体の活動を推進しています。主な活動として、以下のものがあげられます。

(1) 学級や学校生活をよりよくするための学級会

児童自らが学級や学校における生活上の諸課題に気づき

①やってみたいこと ②つくりたいこと ③解決したいこと

などを学級会で話し合い、集団で合意形成をしています。話し

合いで決まったことをもとに計画を立てて、実践し、振り返

りをもとに次回に活かせることを考えるなど、全ての活動が

児童主体となって活動を行っています。

(2) 自発的・自立的な異年齢集団活動

高学年が行うクラブ活動や委員会活動、全学年が交流する縦割り活動など異年齢集団活動を多く取り組んでいます。リーダーを中心として自分たちで活動計画、実施しています。活動を通して、上級生は、下級生への思いやりのある接し方を学び、下級生は、進んで他学年と関わることで、所属感や充実感を感じることができるようになっています。また、委員会活動では、全ての委員会が年度当初に SDGs の目標を定め、年間を通して目標を達成するために活動し、児童集会等において啓発活動にも取り組んでいます。



学校をよりよくするために
できることを考える学級会

02 地域人材を活用したホンモノに触れる教育の推進



本校では、学校・家庭・地域・企業が教育に係る「地域の多くの子どもの長を見守る仕組みづくり」を組織的に展開し、体験活動やホンモノに触れることの教育を推進しています。ホンモノとは、それぞれの専門職、職人などとの触れ合い、実際に教育活動や学習で課題となった実物を五感で体験させることです。

令和 6 年度は、歌手を招いた童謡コンサート・地域のお年寄りから教わった昔遊びの会、大宮アルディージャ・西武ライオンズと連携したスポーツ教室などを実施しました。今年度もさまざまな体験活動を実施する予定です。



2 名の歌手による童謡コンサート